

May.2015



看護協会だより

KANGO



 佐賀県看護協会

〒849-0201 佐賀市久保田町徳万1997-1(看護センター内)
TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603
URL <http://www.saga-nurse.org>
E-mail sagakgkk@coral.ocn.ne.jp

CONTENTS

- ② 会長あいさつ・公衆衛生事業功労者表彰
- ③ 准看護師から看護師への道へ
- ④~⑤ こんにちは！事業部
- ⑥ 保健師職能集会・助産師職能集会
- ⑦ 看護師職能Ⅰ集会・看護師職能Ⅱ集会
- ⑧ 医療と福祉施設との交流会
・保健指導ミーティング
- ⑨ 訪問看護サポートセンター開設・新職員紹介
- ⑩ 捄出金・理事会報告・編集後記
- ⑪~⑬ 平成27年度通常総会関係
- ⑭ 平成27年度佐賀県看護協会教育計画
- ⑮ 温泉施設会員ご優待
- ⑯ ハーモニーランド無料ご招待



【表紙写真】「看護センターのはなみすき」

会員数 5,337人 H27年5月現在

保健師	167人	助産師	127人
看護師	4,634人	准看護師	409人

ごあいさつ



公益社団法人佐賀県看護協会

会長 三根 哲子



佐賀県看護協会が、公益社団法人となって2年が経過いたしました。

今回は、6月の通常総会に向け、前年度決算報告・代議員選出・改選役員選出等、重要な情報満載です。特に、自己のキャリアアップや会費の有効活用・社会貢献についての視点でご覧いただき、総会で、ご意見をお寄せください。

西九州大学が(仮称)地域看護学部設置構想(平成30年度小城市に開設)を公表し、着々と準備が進行中です。看護協会としては、県内2校目の看護学部の開設に期待し、応援しています。後輩に大いに期待する話ですね。明るい未来 … 感じます?

さて、看護の質の向上は看護協会活動の使命ですが、超高齢社会の人々の生活と健康を支える役割が期待される医療・看護のあり方が「病院・施設から地域・在宅へ」と大きく変化する中、日本看護協会では、平成27年度の重点政策・重点事業の第一番に、「長期療養の生活者を支える訪問看護等の機能強化」を掲げています。その一環として、佐賀県看護協会では、本年1月、「訪問看護サポートセンター」事業を創設し、県内全域を対象に訪問看護ステーション運営相談及び訪問看護の知識・技術の研修・指導を開始いたしました。これぞまさに、期待される社会貢献です。

また、「働き続けられる労働環境改善の推進」として、平成25年度からワーク・ライフ・バランスに取り組み、平成27年度は4施設が継続して取り組みます。

看護職がやりがいをもって元気に働き続けることが、社会の財産であることを自覚し、体力に合わせて自分らしく70歳まで働き続けられる職場環境に关心を持ち、皆で力を出し合い、行動しましょう。

ワーク・ライフ・バランスの一助として、会員の福利厚生の充実目的で、大分県のハーモニーランドと契約しました。昨年の夏休みには、何と約800人の会員・家族等の皆さんを利用されました。(この会報の最終ページをご参照ください)佐賀県看護協会の会員証と利用申請書の提出で同行者も入場無料となります。(スゴヘイ!! 但し、利用期間の限定があります)

ハーモニーランドは私にはチョット…!ですが、嬉野・武雄の温泉旅館の優待を利用いたしました。優待は会員外もOK(施設に十分事前確認が必要です)で、ユックリ・ユッタリを楽しみリフレッシュすることができました。

こころにユトリ・かるいアシドリ・生活にメリハリ で、マイリましょう …



おめでとうございます

公衆衛生事業功労者表彰

前佐賀中部保健福祉事務所健康推進課 課長 坂田栄子様が長年、公衆衛生活動に尽力されたことが認められ、平成27年3月19日に大手町サンケイプラザ(東京都)で公衆衛生事業功労者表彰を受けられました。

坂田様には看護協会活動にも大変なご協力を頂き、改めましてお祝いとお礼を申し上げます。

今後も協会会員としてお導き下さいますようお願い申し上げます。

准看護師から看護師への道へ

看護師養成学校養成所2年課程通信について

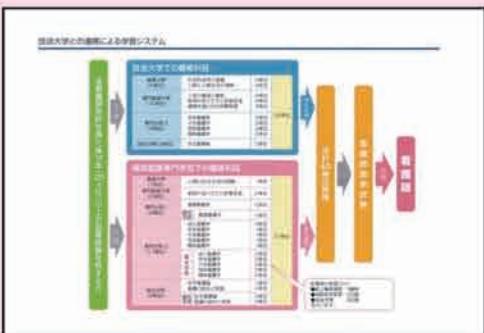
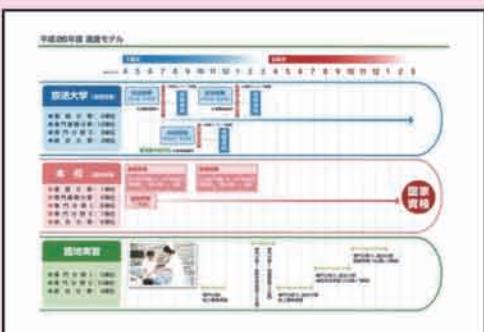
2004年度から開始された制度で、通信制の看護師学校養成所に入学する方法で、准看護師として10年以上の実務経験が必要です。看護師数は1990年の40万人から2012年には、100万人と倍以上に増えていますが、准看護師は35万人前後で横ばいです。病院で働く准看護師が減り続け、直近の調査では全体の4割で、その内訳は介護老人保健施設などで働く人が増えて2010年度には約16%、居宅系サービスでは10年で3倍近くに増えています。

平成24年の佐賀県では男性482人、女性4,365人の准看護師が働いていますが、これから超高齢社会が進む中で、専門的な知識や技術をもった看護師が増えていくことに期待がかけられています。

日々忙しい仕事の中にあって、学業との両立は難しいかも知れませんが、これまで県内で看護師免許を取得された先輩方も増えています。通信制は自宅での勉強が中心になりますので、全日制に比べ時間的には融通が利き、また奨学金制度などもありますので、多くの准看護師の方々が挑戦されています。九州管内では以下の学校が門戸を開いていますので、下記に問い合わせるか、インターネットで検索してみて下さい。

都道府県	養成所名 http://	電話番号	開設年
福岡県	福岡看護専門学校 http://www.fukuoka-kango.jp/	092-607-3235	2004 年度
	麻生看護大学校 http://www.asojuku.ac.jp/iizuka/	0948-25-5999	2005 年度
熊本県	熊本看護専門学校 http://www.kumamotokango.ac.jp/	096-355-4401	2005 年度
鹿児島県	鹿児島中央看護専門学校 http://www.kachukan.ac.jp/	099-226-1201	2006 年度

例：進度モデルと放送大学との連携による学習システム



看護師免許取得の声 ~頑張りました~

私は高校を卒業と一緒に看護科高等課程に進学しました。卒業後は勉強したくない、実習に行きたくない、遊びたいの一心で専門課程には進学せず働き始めました。初めは満足していましたが、年を重ねるごとに同期のスタッフや自分より若いスタッフが正看護師の免許を取っていくを見していくうちに段々と准看護師であることに不満と言うか、後ろめたさを感じるようになってきました。名札には大きく准看護師、給料の格差、患者さんから「あんた看護師さんね。」などと聞かれて「はい」と言えない自分を格好悪く感じていました。看護師の免許を欲しいと、ずっと思っていましたが、なかなか進学に対して決断できずにいました。そのうち結婚し、子どもができ一家の大黒柱となったので、週のほとんどを長期実習や学校のため給料を減らすなんて考えられませんでした。通信制も考えましたが「通信は入るのは簡単だけど卒業するのは難しい」という情報しか入らず論外でした。そんな中、同期スタッフが通信制を始めたのをきっかけに情報を集め、学習内容などを聞き、長期実習、学校日は自己選択・減給なしで、2年後は国家免許が取れることは、自分にとっては最高の道ではないかと入学を決意しました。入学後は、看護に対する知識・意識の薄さを痛感させられました。初めての紙上事例演習・膨大な課題ときつい時もありましたが、クラスメートとの情報交換や先生や先輩からのアドバイス、病院(部署)のサポートもあり進むことができました。実習期間も短く授業も自分のライフスタイルに合わせることができ、家族や職場への負担も少なく済み、減給もなく安心して取り組むことができました。

卒業後は仕事をしていて自分は看護師であると自信を持って仕事に取り組め、意識が変わったのを覚えています。

医療法人 ひらまつ病院 原 基樹

(麻生看護大学校 看護科通信課程 平成24年度卒業)

こんにちは！事業部

事業部の仕事は教育事業とナースセンター事業

新人看護職員研修多施設合同研修会



4月2日(木)から8日(水)まで5日間、約50名の新人看護師と呼ばれる方々が集中研修を受けました。今年、国家試験を受け知識的には旬の皆さん方でしたが、講義や実習を通して、正しい知識や技術を再取得し気持ちを新たにされたようです。



日常生活の援助
患者さんの立場で
ケアするとは…



トイレットペーパーが片手で千切れな~い

左半身が麻痺しています。立ちたとい…

麻痺があっての階段昇降は…

受講生の感想から

- ・看護協会の役割や機能を学び、必要性を知ることができた。
- ・あなたにだったら頼めると思って声を掛けて頂けるような接遇をしていきたい。
- ・患者個々に価値観を持っておられることを忘れず、日々業務の中で倫理的感覚を高めていきたい。
- ・ただ見ているだけの観察ではなく、心まで見て感じ取る、読み取る、見抜く能力が大切である。
- ・麻痺があると日常生活行動が難しいことを再確認し、患者の不自由さを知り、援助の大切さを学んだ。
- ・一言で苦痛と言うのは簡単だが、実際にどのような苦痛を捉えケアするのか、グループディスカッションをし、演じてみて、学び直すことができた。



苦痛の緩和・安楽確保



まえだせいえい絵葉書より

職場の皆様の協力を！

研修は5日間の集中研修と1か月後、半年後、1年後（実際は11か月後）

研修です。職場は人員確保で大変と思いますが、皆で育てていく意識で新人さんが参加できるようにご配慮下さいますようお願いいたします。

(担当)

		9:30	10	11	12	13	14	15	16:30
6	5月13日 (水)		フォローアップ研修Ⅰ 認知症看護の実態		休憩		フォローアップ研修Ⅱ プロフェッショナルな仕事に近づく		
7	10月21日 (水)		フォローアップ研修Ⅲ 創傷・褥瘡管理		休憩		フォローアップ研修Ⅳ 成長してきたかな？私！		
8	2月17日 (水)		フォローアップ研修Ⅴ 看護を語り、看護の役割や責務に繋げる		休憩		フォローアップ研修Ⅵ 看護を語り、看護の役割や責務に繋げる		

5月12日は「看護の日」看護の心をみんなの心に



～広く社会にアピール～



『看護の日』制定経緯は、平成3年、市民・有識者の「看護の日の制定を願う会」の運動がきっかけで、近代看護の創始者と言われる、フローレンス・ナイチングエール(1820~1910)の誕生日にちなみ、5月12日

を看護の日、その前後1週間が看護週間として制定されました。今年で25回目を迎えます。

現在、65歳以上の人口が増えているのに対し、18歳未満人口は減少しています。かつては日本の高度成長期を支えてこられた団塊の世代と言わる人たちが75歳を迎える人数がピークとなる「2025年問題」が目の前に来ています。超高齢社会を支えていくためにも、看護の日を通して、看護の心や助け合いの心を分かち合うことが必要です。

厚生労働省と日本看護協会が中心となり活動していますが、今年は佐賀県看護協会もより一層、会員の皆さん方や広く一般の方にアピールしようと横断幕を掲げました。皆さんの目にも留まったでしょうか?今後は毎年、看護の日を挟んで4月中旬から5月中旬の1か月間掲げる予定です。

e ナースセンターからのお知らせ

☆e ナースセンターをご利用いただける方

就職先をお探しの看護職
看護師等養成所を卒業見込みの看護学生
看護職をお探しの求人施設・事業者



無料職業紹介サイト e ナースセンター 利用の流れ

ユーザー情報登録

希望条件を登録

自動マッチング

希望条件に合った
求人情報を紹介

直接
応募

ナース
センター
経由応募

面接

就業

☆e ナースセンターの大きな特徴

看護職および看護学生の方

- ①全国の求人情報がご覧いただけます。
- ②インターネット上で直接気になる求人情報に応募可能
- ③(※登録が必要です) 応募から採用までの一連の流れを、
佐賀県ナースセンターへ直接足を運ぶことなく行なうことが出来ます。
- ④地図機能によりご自宅周辺の求人情報の検索も可能です。
- ⑤ご希望に合った求人情報をマッチングしてご案内する機能もあります。

求人施設の方

- ①求人情報をインターネット上でナースセンターに登録出来ます。
- ②求人情報を登録いただいた施設は、e ナースセンターから看護職の方へ、
直接オファーが出来、求職者からe ナースセンターを介してインターネット上で直接応募を受けることができます。

平成26年度 保健師職能集会

保健師職能委員長 坂田 栄子

平成26年12月13日(土) 佐賀県総合看護学院 参加者:76名

保健師職能集会では、日本看護協会中板郁美保健師職能理事に「地域に根ざした保健師活動の展開～保健師活動指針を踏まえて～」と題して、社会的要請に応える保健師活動について、平成25年4月通知された「地域における保健師活動(俗称:保健師活動指針)に触れ、ご講演いただきました。

保健(師)活動の対象は、“個”であり、“個をとり囲む人々(血縁、地縁、社会的つながり)”であり、“個々に影響を及ぼす環境”であり、「住民のために」質の良い保健活動を展開する環境整備の一つである“人材育成”的大切さを強調されました。

公衆衛生では保健師が住民の戸をたたき、保健活動には“保健師のコア”が大きく左右します。



参加者は良い刺激を受け明日への活力をいただきました。

平成26年度 助産師職能集会

助産師職能委員長 佐賀大学医学部附属病院 中野 理佳

平成26年10月25日(土)看護センターにて平成26年度助産師職能集会を開催致しました。県内の産科混合病棟の実態を共有し、課題に向けての解決策を検討することを目標に、日本赤十字医療センター 副看護部長の井本寛子氏に「産科混合病棟のユニットマネジメント～より充実した母子ケアのために～」というテーマで講演頂きました。8施設20名の方に参加頂き、①病棟入室基準②母子の療養環境に関すること③感染予防に関する事④人員配置に関する事等について、グループワークを通して情報交換や解決策について話し合いました。「混合病棟の基準を作成しなければと思った。」「今までスタッフとしての視点しかなかつたが、いろいろ気づくことができた。」「戦略的交渉、そのためのデータの取扱いが重要であることを知ることができた。」等ほとんどの方が今回の研修会は、今後の参考になったという評価でした。また、「大変だ、大変だけではなく、産科病棟として守るためにには重症度、医療・看護必要度もみすえ、他科との共存等考えていかなければならない。」という力強い前向きな感想もありました。



今回の研修は、今後も益々進むであろう産科混合病棟のなかで、助産師としてできるよりより母子ケアの在り方について考える良い機会になりました。

看護師職能Ⅰ(病院領域) 集会

看護師職能Ⅰ委員長 秋永 優子

平成26年12月7日(土)13:00~15:30 参加者:97名

今年度の看護師職能Ⅰ(病院領域)集会の目的を「1. 病院で働く看護職が退院支援活動を行うための知識向上を図る。」「2. 退院支援の協力体制における看護師の役割を知る。」とし、九州看護福祉大学の開田ひとみ准教授に「望まれる退院支援と看護師の役割」について講演を頂きました。講演内容は、退院支援・退院調整が必要な背景、地域包括ケアシステム、望まれる退院支援とは何かで、色々な立場・側面があり誰の立場から望まれる退院支援であるかが重要であると改めて感じました。開田准教授は看護師経験があることから、現状を踏まえた講演内容で、職能集会開催後のアンケートで、退院調整で困った事はあるが、看護師が退院調整に介入する必要があると感じた方97%、今後に活かせる内容であったと95%の方が回答され、今後の講演開催についても検討してほしいという意見もありました。



看護師職能Ⅱ(介護・福祉関係施設・在宅等領域) 集会

看護師職能委員会Ⅱ委員長 水田 輝子

平成26年9月27日(土)13:30~16:00 参加者:38名

集会の活動目的「看護師機能Ⅱ委員会に係る課題発見・意見集約を行い会長に助言する」を再確認し、集会目的1.看取りケアに関する研修プログラムの普及啓発、2.地域で認知症の人を支えるための病院と地域の連携・協働に関する意見集約・情報発信として、併せて第1回全国職能委員長会の報告を行った。交流会のテーマを「介護施設での看護師の役割と機能」とし、サブテーマを「介護職との共働・看取り・現場における教育」とした。

各グループからも活発な意見が出されアンケートの結果で、グループからも活発な意見が出されアンケートの結果で、グループでの交流会が非常に有意義だったが、98%を占め「自分の抱えている課題をいかに解決すべきかの方向性が見えた」等意見を頂きました。

今後開催して欲しい研修として①看取り②認知症ケア③エンゼルケアでした。最後に日本看護協会看護師職能Ⅱから出している第1弾 系統的な研修プログラム、第2弾

介護施設の看護実践ガイド、第3弾 介護施設等における看取り研修プログラムを情報提供し閉会いたしました。



医療と福祉施設との交流会

看護師職能委員会Ⅱ委員長 水田 輝子

平成27年1月27日(火)13:00~16:30 参加者(看護職、介護職):64名

久留米大学認定看護師教育センター 徳永智恵美先生を講師に迎え、質の高いサービス提供をする為に「看取りケア」について講演された。内容は1、エンド・オブ・ライフ・ケアとはケアの実際、ケアの課題2、家族の支援等をより具体的に講演をされた中で「死に行く人の17の権利」が印象に残りました。また、高齢者の方がその人らしく生きがいを最後まで保障するケアを行うことが看取りなのだと改めて思いました。その後「看取りにおける他職種との情報共有・連携について」交流会を1時間もった。



アンケートでは、「日頃の業務では聞くことが出来ないターミナルの話が聞けて勉強になった」「以前にも看取りの研修を受講したことがあったが、今回のようないろんな職種の方とのディスカッションが出来て良かった」と声があった。

また、「今回の交流会は有意義であったが97%」、「交流会に参加して問題共有が出来て良かったが93%」占めた。

保健指導ミーティング『実践力UP事例検討会』

保健師職能委員長 坂田 栄子

平成26年12月13日(土) 佐賀県総合看護学院 参加者:83名

- 病を持つ人やご家族を支援するには、そのケースワークには事例検討が必須！
- 事例検討会の資料作りに時間を費やしていましたか？

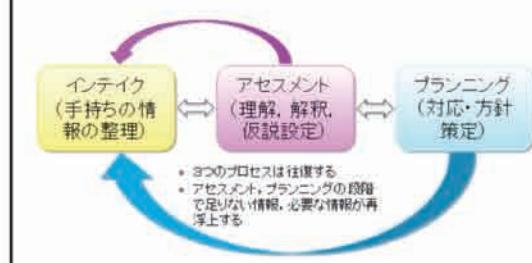
“実践力UP事例検討会”では、事例提供者(新任期)は資料を作成せず、事例概要を熟知し5~10分で説明し、その後参加者全員で意見交換します。

板書係がホワイトボードに記入することにより、参加者はお互いの顔とホワイトボードを見ながら話し合い、事実情報・確認すべき情報を確認しながら全員が自らのアセスメントを行い、具体的な支援策まで60分の検討会をします。

5グループで検討会！それぞれに事例提供、ファシリテータ、板書係で、多くが初めての検討会でしたが、負担感は少なく各グループが積極的な意見交換ができた。新任期保健師は事例提供し参考になる意見や考え方を学べ、指導保健師は的確なアセスメントを導くファシリテータの役割について大きな学びを得ました。

事例検討会に先立ち、防衛医科大学校の佐野信也准教授に、「事例検討会を検討する～アセスメントのポイント～」のご講演をいただきました。

事例検討におけるアセスメントの位置



訪問看護サポートセンター開設

H27.1.1

訪問看護サポートセンターが開設されました。全国から注目されている佐賀県看護協会訪問看護ステーション内に設置されましたので、ご活用ください。今後在宅医療が推進される中、その核となる訪問看護の発展を願い、人材育成、人材確保の支援をするため、研修機能、相談支援機能、小規模事業所支援機能等そなえています。専従職員として、経験豊かな前訪問看護ステーション統括所長上野がセンター長として対応いたします。

これから事業にご注目ください！ご相談をお待ちしています！

お問い合わせ先：電話番号 **0952-29-7633**（代表）



新職員紹介



事務局長 野口 義輝

4月1日から事務局長として勤務することになりました、野口です。

今まで女性の園での勤務経験もありませんし、法人会計にも初めて携わることとなり、戸惑うことばかりです。

今後、職員のみならず、会員の皆様方にもご迷惑をおかけすることが多くあるかと思いますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



総務課 山崎 由紀子

平成27年1月より入職しました、山崎です。主に会員管理、収入管理を担当しています。

わからないことばかりですが、諸先輩方にご指導いただきながら、日々奮闘中です。

皆様方にもご迷惑をお掛けすることと思いますが、精一杯頑張っていきますので、これからも宜しくお願い致します。

佐賀県看護協会看護センター施設維持管理資金拠出金

■拠出金について

平成27年度 4月末まで **369,239,000円**
 会員の皆様、また、取りまとめをしてくださっている代表者の方々に心よりお礼申し上げます。今後も引き続き、拠出金納入推進に向けてより一層のご理解をお願いいたします。

皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

新規・継続入会受付中！

平成27年度の入会手続きを受付中です。
 お早めの手続きをおすすめします。新規のご入会も随時受付ています。

お問い合わせ・資料請求は会員担当まで
 TEL 0952-68-3299

理事会等報告

常任理事会 平成27年1月16日(土)

1. 次回の理事会打合せ
2. 平成25年度佐賀県看護研究学会について
3. 平成26年度事業報告について(4・12月)
4. 佐賀県四師会医療問題懇話会について
5. 職員給与について
6. その他

理事会 平成27年2月7日(土)

協議事項の審議

1. 平成26年度佐賀県看護研究学会について
2. 平成27年度佐賀県看護協会教育計画(案)について

報告事項

1. 平成26年度事業報告(4・12月)
2. 看護職のWLB推進ワークショップファローアップについて
3. 全国会議等報告
 - 1) 都道府県広報担当役員会議
 - 2) 訪問看護連絡協議会全国会議
4. 特別委員会等報告
 - 1) 認定看護管理者教育運営委員会
 - 2) WLB推進委員会
 - 3) 医療・看護安全推進委員会
5. 佐賀県四師会医療問題懇話会について
6. 看護センター施設維持管理資金拠出金納入状況について
7. その他

常任理事会 平成27年3月4日(水)

1. 次回の理事会打合せ(3月21日(土)開催)
2. 平成年度佐賀県看護協会通常総会について
3. 平成27年度佐賀県看護協会役員等改選候補者について
4. 平成28年日本看護協会通常代議員・予備代議員候補者(案)について
5. 平成27年日本看護協会通常総会代議員・予備代議員研修について
6. 人事について(事務局 ナースセンター)
7. 看護体験教室・まちの保健室の従事者スタッフについて
8. 職員の健康管理について(産業医・衛生管理者設置について)
9. その他

理事会 平成27年3月21日(土)

協議事項の審議

1. 平成27年度佐賀県看護協会通常総会について
2. 平成27年度事業計画書(案)及び収支予算書等(案)について
3. 平成27年度佐賀県看護協会役員等改選候補者(案)について
4. 平成28年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者(案)について
5. 佐賀県看護協会規程等改正について

報告事項

1. 日本看護協会理事会・法人会員会報告
2. 都道府県職能委員長会報告について
3. 訪問看護サポートセンター研修会
4. 雇用拡大研修会
5. 特別委員会等報告
 - 1) まちの保健室事業推進委員会
 - 2) 看護制度委員会
 - 3) 災害看護支援要綱検討会
6. 平成26年度佐賀県看護研究学会開催結果について
7. 平成27年度「看護の日・看護週間」事業について
8. 看護センター施設維持管理資金拠出金納入状況について
9. その他

常任理事会 平成27年4月10日(土)

1. 理事会打合せ
2. 平成27年度佐賀県看護協会通常総会について
3. 通常総会議長について
4. 平成27年度代議員・予備代議員研修について
5. 公益社団法人佐賀県看護協会会長表彰について
6. 常任委員会・特別委員会委員の選任について
7. 平成27年度WLB推進ワークショップについて
8. その他

理事会 平成27年4月29日(水)

協議事項の審議

1. 平成26年度佐賀県看護協会事業報告について
2. 平成26年度佐賀県看護協会決算報告について
3. 理事の報酬等の総額の上限について
4. 補正予算について
5. 平成27年度佐賀県看護協会通常総会について
6. 職能委員会委員・常任委員会委員・特別委員会委員の選任及び交代
7. 公益社団法人佐賀県看護協会会長表彰について

報告事項

1. 平成27年度WLBワークショップについて
2. 平成27年度県委託事業について
3. 平成27年度認定看護管理者教育課程(ファーストレベルについて)
4. 平成27年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員事前研修会
5. その他

編集後記



初夏の陽気に包まれ、あじさいの花が見ごろとなっています。皆さまは如何お過ごででしょうか。今年度は、委員会活動としてホームページ内容の検討や提言をして参りますので、楽しみにしておいて下さい。

広報出版委員会 吉岡 水田 江里口 平嶋 岡口

URL:<http://www.saga-nurse.org>